

平成26年度豊明市環境基本計画目標の検証

A 自然の保全

環境目標

(短期目標)

自然豊かな緑地を保全し、そこに住む動植物の保護に努めます。

【目標値】豊明の統計 地目別土地利用面積：森林 114ha（維持）

(長期目標)

市の全ての事業・活動は、環境保全と調和して行います。

ホタル、メダカ等の身近な生き物(注1)の生息を維持していきます。

(注1)保全目標とする生き物の種類は、調査等を行い指標生物を選定し決めていきます。

○平成26年度実施

- ① 道路・公園等の清掃・保全活動に対し、アダプトプログラム（H26.12月現在70団体）の登録制度を整備した。（市民協働課）継続
- ② 都市マスタープランに基づき、二村山緑地を残すために、二村山環境保全推進協議会とともに保全整備を進めた。（都市計画課）継続
- ③ あいち森とみどりづくり事業により平成25年度に引続き二村山緑地の整備を一部行った（園路整備・境界柵の設置）。（都市計画課）新規
- ④ 第4次総合計画と結合できるように環境基本計画の短期目標を設定した。（環境課）継続
- ⑤ 緑と水辺の豊かな環境をめざし、市内の自然（ナガバノイシモチソウ、シラタマホシクサ、ハッチョウトンボ、大狭間湿地）を残すための保全活動を行った。（生涯学習課）継続

土地利用面積（地目：森林）

各年3月31日現在（単位：ha）

| H23年 | H24年 | H25年 |
|------|------|------|
| 113 | 113 | 113 |

- ⑥ 大狭間湿地の水量調査を開始した。（生涯学習課）新規
- ⑦ 境川流域市町と共同で境川の水生生物調査を行った（6月30日）
豊明市の地点では、シマイシビル・ミズムシ・スジエビ等が見つかった

B 風景の保全

環境目標

(短期目標)

二村山及び二村山緑地の保全に努めます。

(長期目標)

次世代に伝えていきたい風景等(注1)を維持していきます。

(注1)保全目標とする対象は、調査等により、大切にしたい景色、自然景観、史跡・文化財等、伝統文化などを選定し決めていきます。

○平成26年度実施

- ① 遊休地に菜の花・コスモスを植栽し、花の街とよあけを推進した。
(産業振興課) 継続
- ② あいち森とみどりづくり事業により二村山緑地の整備を一部行った(園路整備・境界柵の設置)。(都市計画課) 新規
- ③ 史跡の維持管理を行った。
(生涯学習課) 継続
- ④ 埋蔵文化財の所在把握と、開発業者への指導を行った。
(生涯学習課) 継続
- ⑤ 指定民俗文化財等の保存会をはじめ、伝承者に補助金を交付した。
(生涯学習課) 継続
- ⑥ ナガバノイシモチソウ自生地、大狭間湿地の一般公開を行った。
(生涯学習課) 継続
- ⑦ ナガバノイシモチソウの保全のため除草や、奇形花除去のための遺伝子解析を行った。(生涯学習課) 継続

C 自然とのふれあいの確保

環境目標

(長期目標)

全ての地域に自然とふれあえる場を確保します。

○平成26年度実施

- ① 市営の市民農園（5か所）のほか、JA（11か所）、NPO、個人営の貸農園により、市民が農業とふれあう機会を提供した。
（産業振興課）継続
- ② あいち森とみどりづくり事業により二村山緑地の整備を一部行った（園路整備・境界柵の設置）。また二村山環境保全推進協議会が主体となって、定期的な自然観察会を行った。（都市計画課）新規
- ③ 環境団体より要望があった場合に随時水質調査キットや透視度計を貸出しをした。
（環境課）継続
- ④ 出前講座による環境学習を実施した。
（環境課）継続
- ⑤ 学校花壇・学校農園による「土とのふれあい」を行った。
（学校教育課）継続
- ⑥ 豊根村にある豊明市野外教育センターの耐震工事を含めた改修を行っている。
（生涯学習課）新規
平成26年度 測量 平成27年度 解体・設計 平成28年度 建設予定
- ⑦ ナガバノイシモチソウ自生地、大狭間湿地の一般公開を行った。
（生涯学習課）継続
ナガバノイシモチソウ 8月2. 3. 4. 30. 31日
大狭間湿地 8月2. 3日 9月20. 21日

ナガバノイシモチソウ、大狭間湿地一般公開来場者数

(単位：人)

| | H24年度 | H25年度 | H26年度 |
|------------|-------|-------|-------|
| ナガバノイシモチソウ | 415 | 585 | 405 |
| 大狭間湿地 | 330 | 421 | 430 |
| 合計 | 745 | 1,006 | 935 |

D ため池等の水辺の保全・活用

環境目標

(短期目標)

河川及びため池の再整備を進め、人と自然との交わりが持てる場にします。

(長期目標)

それぞれのため池は、その個性や地域特性に応じた保全活用を図っていきます。
市内の水辺における自然な水際の残存距離を現況より延長します。

○平成26年度実施

- ① ため池の改修にあたっては、近隣住民の意見を取り入れた。
(土木課) 継続

- ② 水域浄化のため「水切ネット」と水質浄化PRパンフレットを配布した。
(環境課) 継続

E 水質の浄化

環境目標

(短期目標)

浄化槽を使用している家庭に対し、保守点検・清掃・法定検査の実施指導を強化します。

(長期目標)

市内のため池の水質は、COD値 8mg/ℓ(注1)以下をめざします。

市内河川の水質は、BOD値 5mg/ℓ(注2)以下をめざします。

(注1)生活上不快を感じない限度の環境基準値(湖沼C類型)

(注2)コイ・フナが生息するに適する環境基準値(C類型)また、市内河川の水質目標値については生活排水対策推進計画による。

○平成26年度実施

① 生活排水の浄化のため環境課窓口や市役所受付で7月初旬に「水切ネット」を配布し、河川や三河湾の浄化を呼び掛ける啓発活動を行った。(環境課) 継続

② 合併処理浄化槽の設置者に補助金を交付し生活雑排水も処理できる合併処理浄化槽の設置を促した。(環境課) 継続

合併処理浄化槽設置補助基数

(単位：基)

| 平成元年度から 平成23年度までの累計 | H24 | H25 | H26 (1月末) | 合計 |
|------------------------|-----|-----|--------------|-----|
| 579 | 34 | 32 | 29 | 674 |

③ 市広報等により浄化槽の法定点検等の啓発を行った。
(環境課) 継続

④ 合併処理浄化槽設置補助金交付時の実績報告書提出時に浄化槽法定検査依頼書を添付させている。(環境課) 継続

⑤ 河川、池等の水質調査を行った(6月17日 12月8日実施)。

平成26年12月8日実施結果

| | 若王子池 | 勅使池 | 濁池 | 三崎池 | 大蔵池 | 大原池 | 琵琶ヶ池 | 西池 |
|---------------|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| COD (mg/ℓ) | 10.0 | 7.6 | 6.5 | 5.5 | 6.0 | 7.0 | 14.0 | 12.0 |
| | 境川 | 若王子川 | 井堰川 | 正戸川 | 黒部川 | 皆瀬川 | 天王川 | |
| BOD (mg/ℓ) | 4.8 | 1.7 | 1.5 | 1.7 | 0.8 | 1.8 | 3.5 | |

F 産業活動の支援

環境目標

(短期目標)

小規模事業所の環境対策推進を図ります。

(長期目標)

地域環境に配慮した事業活動をめざします。

○平成26年度実施

- ① 事業者に対し事業系資源ごみのリサイクルについて、分別回収の周知徹底を促すとともに、回収業者を案内した。(環境課) 継続
- ② 愛知県の行う産業廃棄物の調査指導に協力した。(環境課) 継続

G 農地の保全・農業の支援

環境目標

(短期目標)

遊休農地を少なくし、農業後継者の育成に努めます。

【目標値】農地流動化利用集積面積：水田100ha（*）

*：第4次総合計画後期基本計画目標値（目標：平成27年）より引用、以下同じ。

(長期目標)

農地を確保するとともに、増加傾向へ転じるような田畑を復旧させる工夫を行っていきます。（注1）

（注1）耕作放棄地の復元等

○平成26年度実施

- ① 地産地消をめざし、2か所のJA産直センターの充実を図った。

（産業振興課）継続

- ② 農地バンク設置（H24年8月～）により市内農家及び新規就農者への斡旋を推進した。（産業振興課）継続

農地バンク集計表（平成26年1月末現在）

| | |
|------------|---------|
| 登録筆数（筆） | 143 |
| 登録面積（㎡） | 116,935 |
| 利用権設定筆数（筆） | 59 |
| 利用権設定面積（㎡） | 49,002 |

- ③ 転作を奨励し、地産地消を図った。

（産業振興課）継続

- ④ 遊休農地のコスモス・菜の花の植栽を推進した。

（産業振興課）継続

- ⑤ 「とよあけEco堆肥」を利用した農業の推進を行った。

（環境課）継続

とよあけEco堆肥生産量

（単位：kg）

| H24年度 | H25年度 | H26年度（1月末） |
|---------|---------|------------|
| 122,930 | 119,790 | 106,620 |

とよあけEco堆肥販売実績

| | H24年度 | H25年度 | H26年度（1月末） |
|--------|-------|-------|------------|
| 袋詰(袋) | 9,500 | 9,698 | 7,300 |
| バラ(m3) | 186 | 173 | 140 |

- ⑥ 沓掛町山田地内に試験農園を開設し、NPO法人に管理運営を委託した。

（環境課）継続

- ⑦ 市営の市民農園（5か所）のほか、JA（11か所）、NPO、個人営の貸農園により、市民が農業とふれあう機会を提供した。（産業振興課）継続

農地流動化利用集積面積

(単位 : ha)

| H 2 4 | H 2 5 | H 2 6 |
|-------|-------|-------|
| 72.3 | 79.8 | 22.0 |

地目別土地利用面積

各年8月1日現在(単位 : ha)

| | H 2 4 年 | H 2 5 年 | H 2 6 年 |
|----|---------|---------|---------|
| 田 | 364 | 357 | 362 |
| 畑 | 163 | 161 | 162 |
| 合計 | 527 | 518 | 524 |

H 水とまちづくり

環境目標

(短期目標)

歩道透水性舗装整備率 12%をめざします。(*)

(長期目標)

緑地等の雨水浸透面積の確保をめざします。

○平成26年度実施

- ① 大宮児童館に雨水利用設備を配置している。
(児童福祉課) 継続
- ② 透水性舗装を行い雨水の流出抑制及び水循環に成果を上げている。
(土木課) 継続 (歩道透水性舗装整備率は平成22年度に12%の目標を達成)
- ③ 中央小学校校舎増築工事において貯留タンクを設置して、雨水を散水利用している。
(学校教育課) 継続

I 災害に強い都市づくり

環境目標

(短期目標)

自主防災組織の充実をめざします。

災害備蓄場所24か所を目指します。(*)

(長期目標)

市民の生命、身体及び財産を災害から保護することをめざします。

○平成26年度実施

- ① 豊門市自主防災組織連合会を通じて防災リーダー等の育成を図った。
(総務防災課) 継続
- ② 地域防災計画を全面改訂し、平成27年4月公表予定。(総務防災課) 新規
- ③ 公共の建物の耐震改修工事を進めた。(総務防災課、生涯学習課) 継続
H26年度耐震工事実施施設
市役所本庁舎、南部保育園
- ④ 災害時に活用できる市内77か所の登録井戸に対し水質検査を行った。
(総務防災課) 継続
- ⑤ 太陽光発電屋根貸し事業を開始し、災害時に避難場所となる小中学校の体育館への安定した電源供給が行うことができる設備を設置した。
(環境課) 新規
- ⑥ 防災拠点となる保健センターに太陽光発電装置と蓄電池を設置することを決定した
(H27) (環境課) 新規

災害備蓄場所整備数

(単位:箇所)

| ~H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度 (予定) | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|---------------|----|
| 14 | 2 | 2 | 2 | 1 | 3 | 24 |

J 潤いと安らぎのあるまちづくり

環境目標

(短期目標)

住民1人当たりの都市公園の敷地面積 5.28 m²をめざします。(*)

(長期目標)

市民・ボランティア・事業者・行政の協力体制を確立し、潤いと安らぎのあるまちづくりをめざします。

○平成26年度実施

- ① アダプトプログラム制度（H26現在70団体登録）の充実を図るとともに、地域美化活動への支援を行った。
（市民協働課・土木課・都市計画課・環境課）継続
- ② 道路樹の剪定を定期的（年1回）に行った。
（土木課）継続
- ③ 都市公園の維持管理を行った。
（都市計画課）継続
- ④ あいち森とみどりづくり事業により二村山の整備（園路整備等）や大原公園の整備（植樹）をした。（都市計画課）継続
- ⑤ 530運動の実施（環境課）継続
- ⑥ 平成25年9月に全面供用開始をした勅使水辺公園の維持管理事業を実施した。
（都市計画課）継続

住民1人当たりの都市公園の敷地面積 各年4月1日現在（単位：m²/人）

| H23 | H24 | H25 | H26 |
|------|------|------|------|
| 4.36 | 4.38 | 4.38 | 4.38 |

K より良い道路環境づくり

環境目標

(長期目標)

道路における各種公害に関しては、法令等で定められた環境基準・規制基準値内を維持します。

○平成26年度実施

- ① 環境に配慮した低排出ガス重量車適合のひまわりバスを3台体制で公共交通機関としての充実を図った。(産業振興課) 継続
- ② 歩道の整備、段差解消を行った。(土木課) 継続
- ③ 前後駅南、豊明駅南駐車場を運営した。(都計計画課) 継続
- ④ 阿野・大脇の大气環境測定局の維持管理を行った。(環境課) 継続
- ⑤ 自動車騒音の測定を行った。(環境課) 継続
(国道23号、国道1号、県道瀬戸大府東海線)

自動車騒音測定結果

(基準) 環境基準：昼間70dB以下、夜間は65dB以下、
要請限度：昼間75dB以下、夜間は70dB以下

国道23号

(LAeq 測定単位: dB)

| 測定日 | 測定場所 | 測定結果 | | | | | |
|----------|---------|------|------|------|----|------|------|
| | | 昼間 | 環境基準 | 要請限度 | 夜間 | 環境基準 | 要請限度 |
| 平成24年10月 | 栄町高根103 | 71 | × | ○ | 69 | × | ○ |
| 平成25年11月 | 栄町高根103 | 72 | × | ○ | 70 | × | ○ |

国道1号

(LAeq 測定単位: dB)

| 測定日 | 測定場所 | 測定結果 | | | | | |
|----------|-------------|------|------|------|----|------|------|
| | | 昼間 | 環境基準 | 要請限度 | 夜間 | 環境基準 | 要請限度 |
| 平成24年10月 | 前後町善江1717-3 | 69 | ○ | ○ | 66 | × | ○ |
| 平成25年11月 | 前後町善江1717-3 | 70 | ○ | ○ | 66 | × | ○ |

県道瀬戸大府東海線

(LAeq 測定単位: dB)

| 測定日 | 測定場所 | 測定結果 | | | | | |
|----------|-----------|------|------|------|----|------|------|
| | | 昼間 | 環境基準 | 要請限度 | 夜間 | 環境基準 | 要請限度 |
| 平成24年10月 | 新田町子持松1-1 | 70 | ○ | ○ | 64 | ○ | ○ |
| 平成25年11月 | 新田町子持松1-1 | 71 | × | ○ | 64 | ○ | ○ |

- ⑥ 犬の飼い方教室を開催し、道路環境改善のため犬の糞の放置防止等飼い主のマナー向上を図った。(環境課) 継続
- ⑦ 道路や公園等に犬のふんの放置がない、より良い生活環境づくりを目的として、犬のふん害防止及び地域猫活動事業についてのチラシを作成し、全町内会へ回覧を行い啓発を図った。(環境課) 継続

L 環境汚染のないまちづくり

環境目標

(短期目標)

環境汚染の監視及び指導体制の強化を図ります。

(長期目標)

道路、工場・事業所、事業活動、廃棄物処理等、市内の施設・活動による環境影響や環境汚染の監視を行っていきます。

各種規制対象物質においては、規制基準値内を維持していきます。

○平成26年度実施

①公害苦情対策として監視活動を行った。 (環境課) 継続

- ・環境監視員を2名体制で、休日も苦情対応できるよう体制を強化している。
- ・河川、池、排水路の水質調査を行った (H26. 6. 17 H26. 12. 8 実施)。
- ・一般生活上の公害・苦情の早期解決に努めた (随時)。

②広域連携による公害・環境対策を行った。 (環境課) 継続

- ・尾張東部環境保全連絡協議会 (5回)
- ・境川流域公害担当者連絡会 (2回)
- ・名古屋市隣接市町不法投棄連絡協議会 (1回)
- ・尾張東部地域環境保全委員連絡会 (5回)

M 快適で安全な都市づくり

環境目標

(長期目標)

環境調和型・配慮型事業所の増加をめざします。

快適で安全な都市基盤整備の達成をめざします。

○平成26年度実施

- ① 第5次総計策定において、市民アンケートを実施し広く市民の意見を反映していく。アンケートの作成においてもグループインタビューを実施し、そこで得られた意見を基に作成していく。また市民ワークショップを開催し、市民参加により計画を策定している。(企画政策課) 継続
- ② メール配信サービスにより、犯罪情報のネットワーク化を図った。
(総務防災課) 継続
- ③ 防犯灯の修繕、設置費補助、電気料金補助を実施した。
(総務防災課) 継続
- ④ 地域安全監視員(平成25年度から2名)や市民活動であるセキュリティポリス等が防犯パトロール活動を実施した。(総務防災課) 継続
- ⑤ 駅駐輪場の自転車盗難防止のため啓発活動を行った。(総務防災課) 継続
- ⑥ 豊明駅駐輪場等に豊明市防犯カメラを設置している(総務防災課) 継続
- ⑦ 自主防犯団体に資材提供を行った。(総務防災課) 継続
- ⑧ 青色回転灯装着車(4台)を増強した。(総務防災課) 継続
- ⑨ 青色回転灯装着車の貸出台数を平成26年度から2台にした。(総務防災課) 継続
- ⑩ 地域の防犯灯(2,000基)のLED化をした。(環境課) 新規
- ⑪ 道路側溝に蓋をかけ、歩行者通行帯を確保する等のカラー表示を施工した。
(土木課) 継続
- ⑫ 土地区画整理事業の推進を図り良好な住環境の確保について住民の意見を聞いた。
(阿野町平地地内)(都市計画課) 継続

N ごみから超ごみへの転換

環境目標

(短期目標)

一人一日あたりのごみ排出量20g/毎年減量をめざします。

事業系ごみ排出量を2005年比で30%削減をめざします。

(長期目標)

市民・事業者・行政の協力・連絡体制を確立するとともに、その取組を豊かなまちづくりに活かしていきます。

市内全ての廃棄物の処理や投棄について、環境影響や環境汚染を監視していきます。

ごみゼロ社会をめざします。

○平成26年度実施

- ・ ごみの減量化に向け、以下の代表的な取り組みを行った。(環境課)
 - ① 家庭用堆肥剤「ボカシ」を無料配布した。継続
 - ② 生ごみ堆肥化事業を推進し、とよあけEco堆肥のブランド化を図った。継続
 - ③ ごみの組成調査(可燃・不燃・プラスチック製容器包装)を行い、分別意識の徹底を図った。継続
 - ④ 廃食用油からBDFを製造し、清掃車・堆肥センターのタイヤローダーの燃料に使用している。継続
 - ⑤ 「譲ります」「譲ってください」に申し込まれた品物を随時ホームページに掲載し、再利用(リユース)の推進をはかった。継続
 - ⑥ 小型家電回収を開始した。継続
 - ⑦ 学校給食センターから排出される食品残渣の堆肥化を図った。継続
 - ⑧ 生ごみ堆肥化容器(コンポスト)の購入者に補助金の交付を開始した。
(H27.1月末10件)新規

◎一人一日あたり家庭ごみ排出量 (単位：g)

| 年 度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---------|-------|-------|-------|
| 排出量 | 476.9 | 479.1 | 473.1 |
| 対前年度増減数 | 2.7 | 2.2 | △6.0 |

◎事業系ごみ排出量(2005年(H17年度)排出量：5,570t)

| 年 度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|------------|-------|-------|-------|
| 排出量(t) | 3,021 | 3,070 | 3,115 |
| 対2005年比(%) | △45.8 | △44.9 | △44.1 |

- ・ その他犬のふん害防止の対策として主に以下の取り組みを行った。(環境課)
 - ① 犬の飼い方教室を開催し、犬のふんの放置防止等飼い主のマナー向上を図った。継続
 - ② 飼い主のいない猫の近所迷惑防止看板を作成し、地域への啓発を図った。継続
 - ③ 犬のふん害防止についての地域協働マニュアルを新しく作成し、随時配布を行った。継続

- ④ 道路や公園等に犬のふんの放置がない、より良い生活環境づくりを目的として、犬のふん害防止及び地域猫活動事業についてのチラシを作成し、全町内会へ回覧を行い啓発を図った。継続
- ⑤ 犬のふん害防止看板の色デザインの見直しを決定した。新規

○ 食の安全

環境目標

(長期目標)

有機農産物、食品添加物、遺伝子組み換え食品等に関する情報を提供します。
地元での食料自給によって食の安全をめざします。

○平成26年度実施

<食の安全>

- ・ 保育園の給食における取り組み
 - ① 食材納入時に成分表等の提出を求め、成分の確認作業を実施している。
(児童福祉課) 継続
 - ② H24から試行を進めていたポリエチレンナフタレート製の食器を今後全園に拡大することを決定した。(現在3園)(児童福祉課) 継続
 - ③ 放射能測定器で食材の放射能を測定し随時ホームページにて公表している。継続
- ・ 学校給食における取り組み
 - ① 業者が提出する食品チェック表により、厳しく細かく審査している。
(食品チェック表：原材料原産国、加工工場、配合割合、食品添加物等を記載)
(学校教育課) 継続
 - ② 国産品及び地元産をできるだけ使用している。(学校教育課) 継続
 - ③ 食器類の衛生検査を定期的実施している。(学校教育課) 継続
 - ④ 放射能測定器を購入して、測定を開始し、測定結果については随時ホームページにて公表している。(学校教育課) 継続
- ・ その他
 - ① 栽培日誌による安全な作物の提供を図った。(産業振興課) 継続

<地産地消>

- ① 保育園の米飯給食に一部豊明産米を使用している。(児童福祉課) 継続
- ② 豊明産大豆を使用した「味噌作り講座」を開催した。(産業振興課) 継続
- ③ 学校給食で豊明産の米・野菜等を使用している。(学校教育課) 継続

<有機循環>

- ① 生ごみ堆肥化事業による「とよあけEco堆肥」を使う農産物のブランド化販売を図り、農産物認証制度を推進した。(環境課) 継続
- ② 沓掛町山田地内にある試験農園を開設し、NPO法人に管理運営を委託している。
(環境課) 継続

P 地球規模で考えるこのまちの取り組み

環境目標

(長期目標)

省エネルギーに努め、二酸化炭素の排出量の削減(1990年比6%減)をめざします。

○平成26年度実施

- ① 公用車の買換え時には低公害型車両を購入することとし、平成26年度は1台購入して13台となった。(総務防災課) 継続
 - ② 会議室の冷暖房に設定温度制限を行う等省エネに配慮している。(総務防災課) 継続
 - ③ 市庁舎等公共施設において、壁面緑化を行った。(総務防災課) 継続
 - ④ グリーンマーク商品の購入を進めた。(総務防災課) 継続
 - ⑤ 市役所東館のトイレ用水に雨水を利用している。(総務防災課) 継続
 - ⑥ 二村児童館の館庭、三崎小学校の校庭の一部を芝生化した。(児童福祉課・学校教育課) 継続
 - ⑦ ガス重量車適合のバスをH22年度に2台 H24年度に1台購入し、3台で運行した。(産業振興課) 継続
 - ⑧ 住宅用太陽光発電システム設置費に対する補助(84件)を行った。(環境課) 継続
 - ⑨ 地球温暖化対策として市役所全庁で電気やガス、紙の使用量等を削減するため「とよあけエコアクションプランVersionⅢ」に基づき取り組んだ。(環境課) 継続
 - ⑩ 家庭用廃油からバイオ・ディーゼル燃料(BDF)を精製し、清掃車と堆肥センターのタイヤローダーの燃料に利用した。(環境課) 継続
- ※2月末現在で廃油回収量7,600ℓから5,700ℓのディーゼル燃料(BDF)を精製した。

| 車種 | BDF使用量(ℓ) | 効果 |
|---------|-----------|------------------------|
| 清掃車 | 4,250 | 燃費3.75km/ℓ 約16,000km走行 |
| タイヤローダー | 1,320 | ほぼ1年間分となる |

- ⑪ レジ袋削減事業所を推進した。(環境課) 継続
- ⑫ 市民への啓発・支援策として、ゴーヤの種を無料配布した。(環境課) 継続
- ⑬ 中央調理場管理棟に夏場ゴーヤを植栽し、暑さ対策をした。(学校教育課) 継続
- ⑭ 中央小学校校舎増築工事において壁面緑化に対応した設備を設置した。(学校教育課) 継続
- ⑮ 小中学校の屋上で太陽光発電屋根貸し事業を開始した。(環境課) 新規
- ⑯ 防犯灯のLED照明(2,000基)の導入をした。(環境課) 新規
- ⑰ 保健センターに太陽光発電装置と蓄電池を設置することに決定した。(環境課) 新規
- ⑱ 太陽光発電装置を設置させるため、民間事業者を終末処理場跡地の貸出しをすることに決定した。(総務防災課) 新規

Q 環境教育

| |
|--|
| <p>環境目標</p> <p>(短期目標)</p> <p>児童生徒の環境学習機会を増やします。</p> <p>【目標値】 小学校の環境体験学習：年 160 人 (*)</p> <p>(長期目標)</p> <p>全ての市民が環境を学び、良く知ることができる機会を創出します。</p> |
|--|

○平成 26 年度実施

<保育園の取り組み> (児童福祉課) 継続

- ① 園の余地や周辺にあき地を借り受け、芋や花を栽培した。
- ② 給食やおやつ時に出たゴミの分別を体験させた。

<小中学校の取り組み> (学校教育課) 継続

- ① 小学校 4 年生の社会見学で、東部知多クリーンセンターに行った。
- ② 沓掛小学校 4 年生の環境学習で、井堰川の生物調査を行った。
- ③ 小中学校社会科では、「ごみや水の問題」「環境問題を考える」等環境に係る課題についてとりあげている。
- ④ 小学校で総合的な学習の時間を利用して生ごみ堆肥を利用した農園活動・緑化活動を行った。
- ⑤ 校区内のごみ拾い等の清掃・美化活動等を行った。
- ⑥ 毎年行っている豊根村野外教育センターが耐震工事のため、美浜少年自然の家でキャンプ活動を行った。

キャンプ活動 (小 5・中 2) 参加者数 (人)

| | H 2 4 | H 2 5 | H 2 6 |
|---------|-------|-------|-------|
| 小学 5 年生 | 707 | 655 | 664 |
| 中学 2 年生 | 678 | 702 | 710 |
| 合 計 | 1,385 | 1,357 | 1,365 |

<生涯学習の取り組み> (生涯学習課) 継続

- ① 出前講座等により、学校の環境教育、市民の環境学習を支援した。

<環境課の取り組み> 継続

- ① 出前講座を実施した。
- ② 太陽光発電屋根貸し事業を開始し、市内小中学校に CO2 削減への効果が可視化できる装置を設置し小中学生の環境学習を支援した。(環境課・学校教育課) 新規

R 市民参加・市民行動

環境目標

(長期目標)

全ての市民が環境について考えたり、行動することができる機会を持ちます。

【目標値】環境審議会市民公募委員：2名（維持）

○平成26年度実施

- ① 住民の意見の政策反映のためのパブリックコメントを実施した。(4件)
(企画政策課) 継続
- ② アダプトプログラムを実施した。
(市民協働課・土木課・都市計画課・環境課) 継続
- ③ 市民活動室の提供、市民活動情報誌の発行等の支援を行った。
(市民協働課) 継続
- ④ 市民提案型まちづくり事業により財政支援を行った。
(市民協働課) 継続
- ⑤ 市民が取り組む環境活動に、公用車や備品の貸し出しを行った。
(市民協働課) 継続
- ⑥ 街区公園の再整備やため池改修において、地域住民の意見を反映させた。
(都市計画課・土木課) 継続
- ⑦ 小中学校で太陽光発電屋根貸し事業を開始した。
(環境課) 新規
- ⑧ 域内経済の活性化と再生可能エネルギーの重要性を再認識する機会を提供するため、太陽光発電装置を設置する民間事業者に終末処理場跡地を貸出しすることを決定した。(総務防災課) 新規

S 環境施策の推進（市民・事業者・行政のパートナーシップ）

環境目標

（短期目標）

環境基本計画の推進や環境施策の実行等をチェックする、市民と事業者と行政とのパートナーシップによる組織をつくります。

環境基本計画の進捗状況を公表します。

○平成26年度実施

- ① 第5次総計策定に際して、まちの未来を描き隊など住民参加のワークショップを実施し、計画の策定を行っている。（企画政策課）新規
- ② ESDユネスコ世界会議開催に伴い、県との併催イベントに参加し、本市の取り組み事例を紹介した。（企画政策課・生涯学習課・環境課）新規

・市民協働パートナーシップ（市民協働課）継続

- ① 外国籍の市民に地域ルール of 周知を促すため、外国版広報に「ごみの分け方・出し方」を掲載した。
- ② 「ごみの分け方・出し方」の環境ルール等の情報について、豊明生活便利帳を3か国語で作成し配布した。
- ③ アダプトプログラム制度を広くPRするため、市の広報誌及びホームページに掲載し、区長会においてチラシ配布を行った。
- ④ 市民活動団体等の活動拠点や交流・意見交換の場として市民活動室を提供した。
- ⑤ 市民活動情報誌「コラボレーション」を発行した。
- ⑥ 市民活動情報サイトの整備充実を図った。
- ⑦ 地域一括交付金・資源ごみ回収事業奨励金により地域美化活動を支援した。

